

2023年3月4日配布

第323回山口西田読書会(2023年2月25日開催分)の Protokol

奈原伸雄

1 テキスト

「場所」「四」の第3段落 261頁14行目から 263頁5行目まで

2 キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

- (1) キーセンテンス：「論理的矛盾を超越して而も之を内に包むものが、我々の意志の意識である。推論式について云えば、媒語が一般者となるのである」。
- (2) 考察と問い：「矛盾其者を見る」ために要請されるのが、自ら矛盾の内に入り触媒となり得る〈媒介的な統一原理〉である。この原理は「推論式に於ての媒語」の中に見出すことができる。それは「媒語が単に大語に含まれる」ような「一般から特殊に行く」スタンスではなく、むしろ「特殊なるものの中に判断の根底となる一般的なるもの」を含み得る、〈無の場所〉からの「深き意味」における、極めて能動的な「意志の立場」と考えてよろしいか。